

平成 30 年 7 月 7 日
大洲河川国道事務所
山鳥坂ダム工事事務所
野村ダム管理所

肱川・矢落川出水状況(速報版)

～肱川(大洲第二水位観測所)で観測史上最大の水位※を記録～

(※詳細な水位の記録が存在する昭和38年以降)

- 肱川流域は停滞する梅雨前線の活動により大雨が続き、肱川橋上流域平均総雨量は367.4mm(4日22時から7日14時まで累計)に達し、大洲第二水位観測所(肱川橋地点)では、観測史上最大となる8.11mを記録しました。
- この大雨により、上流の鹿野川ダムおよび野村ダムでは、管理開始以降最大の流入量(それぞれのダムにおいて従来の1.6倍、2.4倍)を記録しました。
- ダムの容量に対して流入水を貯めている途中で満杯に至り、それ以降はダムに入ってくる水量と同量の水を下流に流す操作となりました。
- なお、現在、大洲市内の浸水状況を解消するため肱川本川及び矢落川の6箇所にて排水ポンプ車9台、夜間の監視体制を強化するため照明車1台を配備し、排水作業を行っています。

※資料における数値は、速報値であり、今後修正する可能性があります。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO.1 南海トラフ地震を初めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先

国土交通省	四国地方整備局	大洲河川国道事務所	Tel: 0893-24-5185(代)
	副所長	阿部 勝義(アベ カツヨシ)	(内 204)
	◎ 事業対策官	原田 隆史(ハラダ タカシ)	(内 208)
国土交通省	四国地方整備局	山鳥坂ダム工事事務所	Tel: 0893-34-3000(代)
	副所長	石岡 克浩(イシオカ カツヒロ)	(内 204)
	◎ 事業計画課長	柴田 治信(シバタ ハルノブ)	(内 331)
国土交通省	四国地方整備局	野村ダム管理所	Tel: 0894-72-1211(代)
	管理所長	川西 浩二(カワニシ コウジ)	(内 201)
	◎ 専門官	酒井 博之(サカイ ヒロユキ)	(内 330)

◎ : 主な問い合わせ先

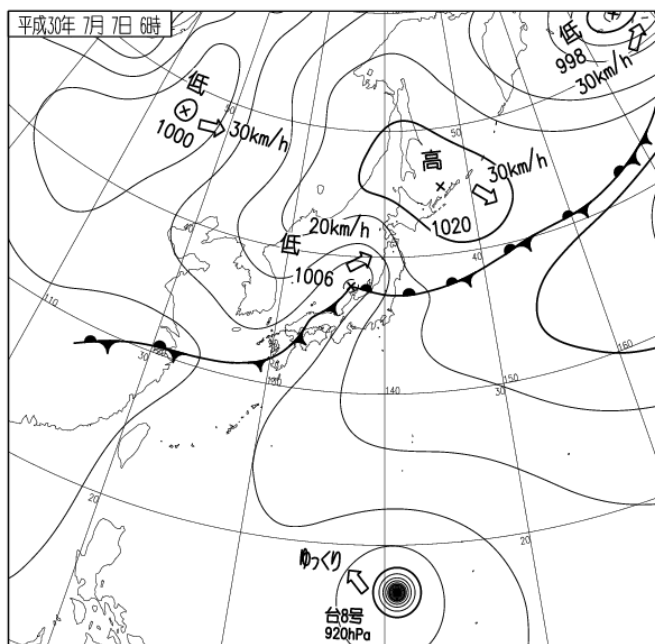
気象の概要

■ 肱川

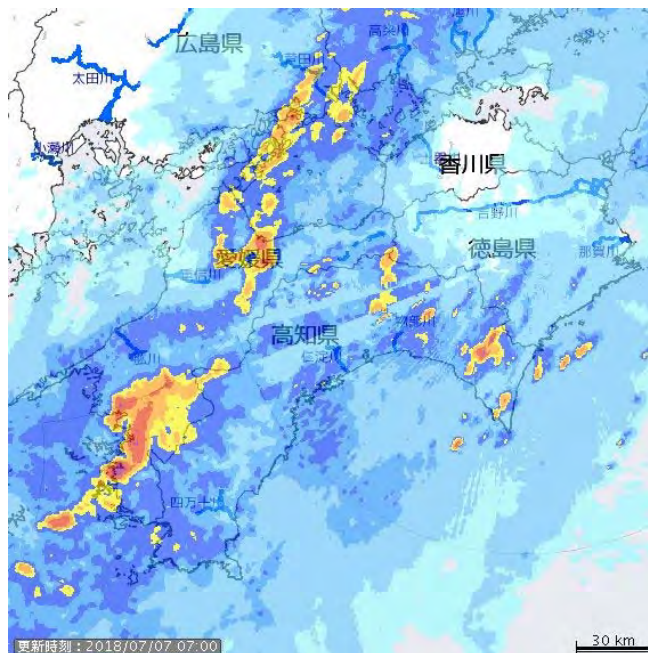
西日本に停滞している梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、四国地方は大気の状態が非常に不安定となっている。

四国地方は、降り始めからの総降水量が1500ミリを超えるなど、記録的な大雨となった。

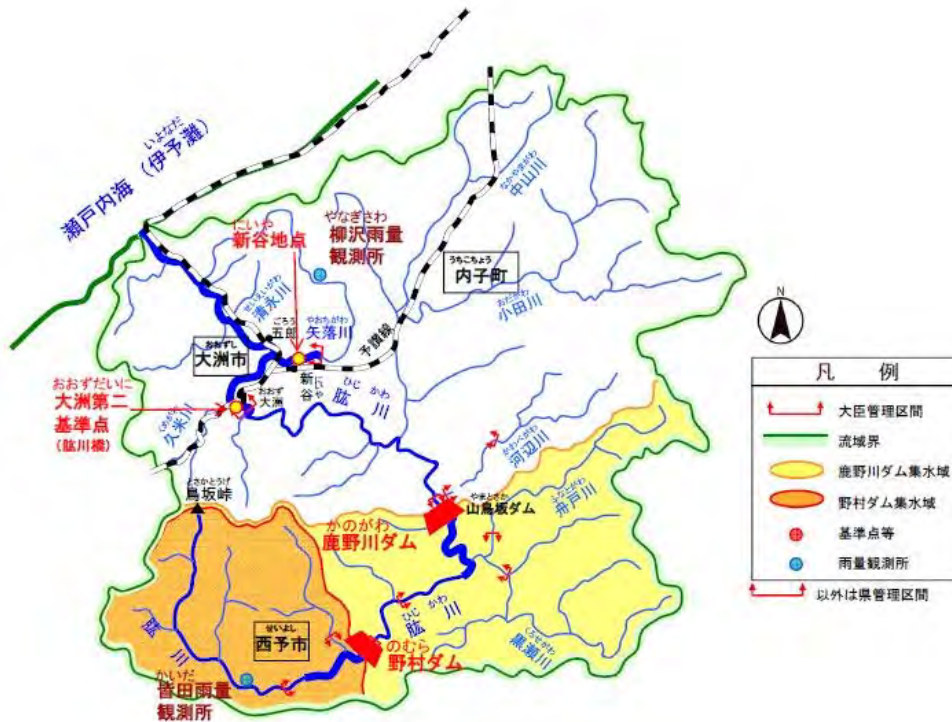
■ 天気図（気象庁提供）



■ レーダー雨量実績図（国土交通省）



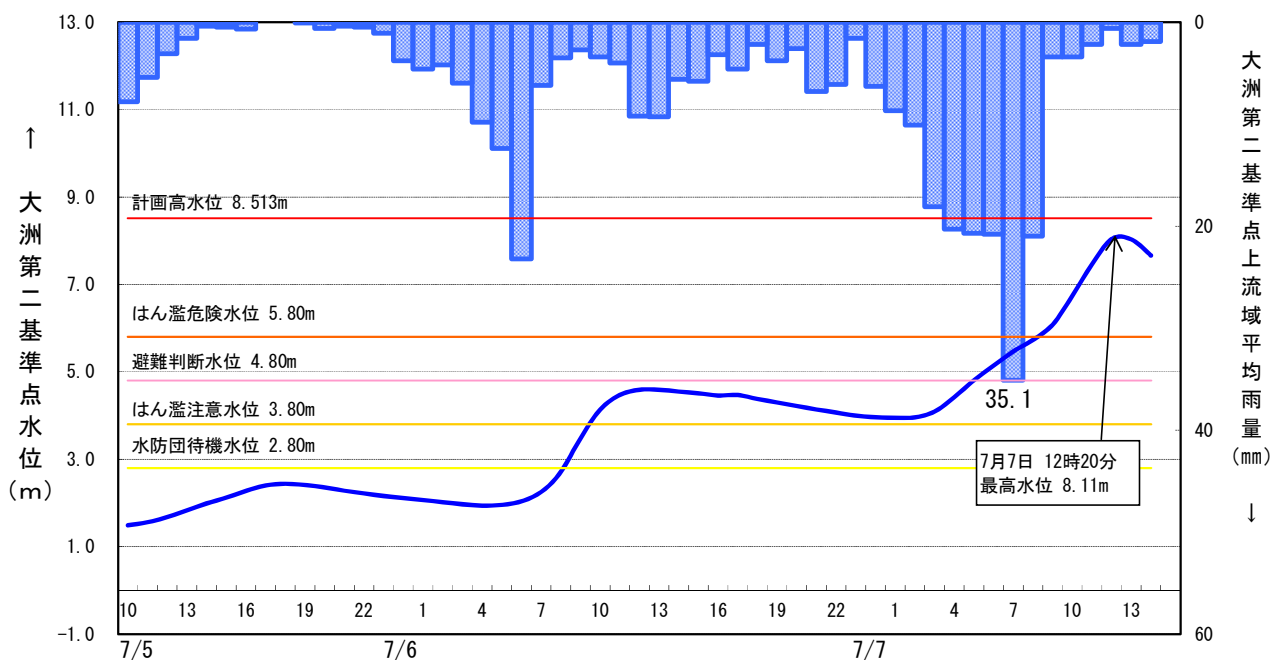
□ 出水概要

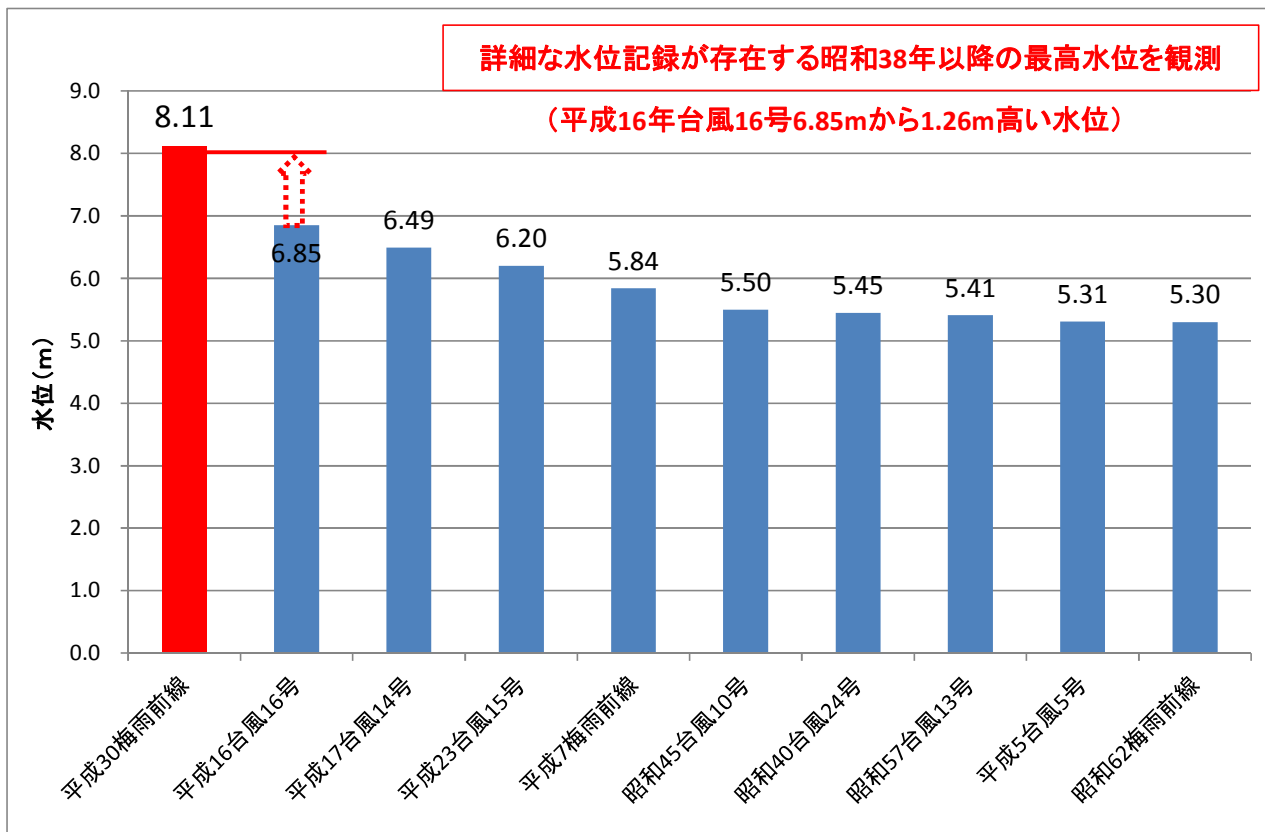


■ 肱川

梅雨前線に伴う大雨で、肱川橋上流域平均雨量において、降り始めの4日22時から7日14時までの雨量は、367.4ミリを観測した。

これにより大洲第二水位観測所（肱川橋）では、6日8時20分に水防団待機水位（2.89m）、6日9時30分に氾濫注意水位（3.80m）、7日5時00分に避難判断水位（4.80m）、7日8時20分に氾濫危険水位（5.80m）を超えてさらに上昇し、12時20分に観測史上最大となる8.11mを観測した。





大洲第二基準地点の状況(7月7日12時頃)



JR矢落川橋梁付近(7月7日11時頃)



東大洲暫定堤防の状況(7月7日10時頃)

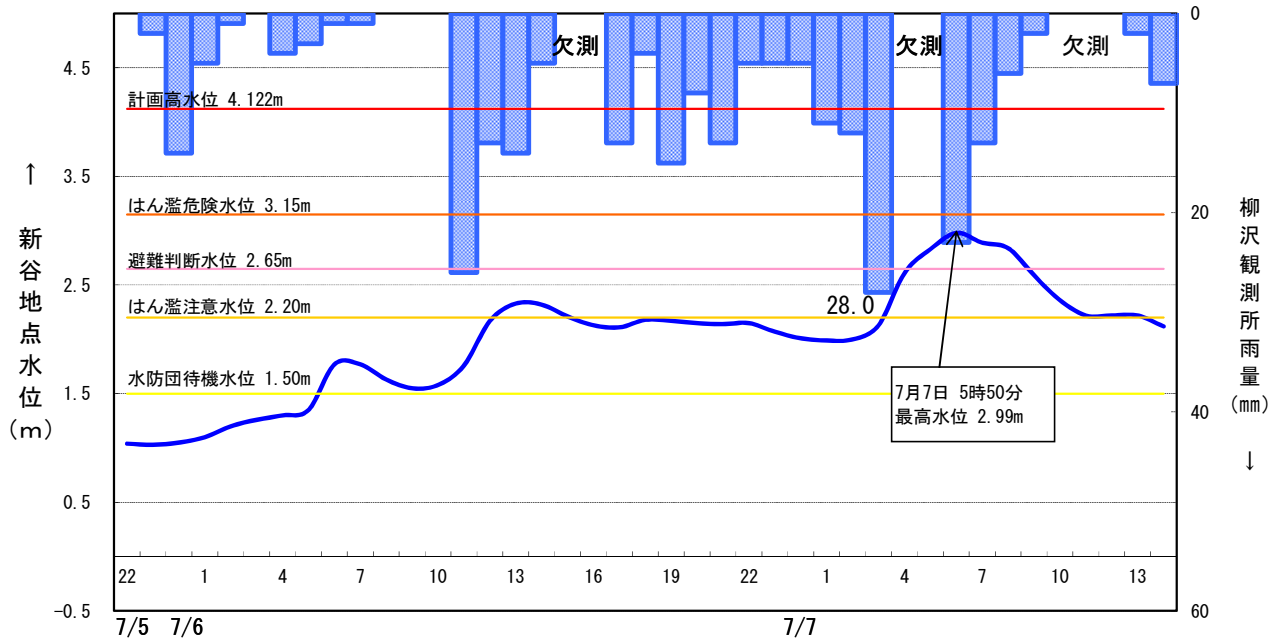


畑の前橋付近(7月7日18時頃)

■ 矢落川

梅雨前線による大雨で、柳沢雨量観測所において時間雨量28ミリ（7日3時）、降り始めの5日4時から7日14時までの雨量は、404ミリを観測した。

これにより新谷水位観測所では、7日3時20分に水防団待機水位（2.20m）、7日4時10分に氾濫注意水位（2.65m）を超えてさらに上昇し、7日5時50分に2.99mを観測した。



■ 内水排除のための排水ポンプ車の稼働（台数はいずれも延べ台数）

排水ポンプ車9台を派遣し、内水排除を行った。（大洲河川国道事務所所有の6台、松山河川国道事務所から1台、中村河川国道事務所から1台の広域支援の排水ポンプ車2台）

- ・大洲市（都谷川樋門）に排水ポンプ車2台
- ・大洲市（大河内樋門）に排水ポンプ車2台
- ・大洲市（武田川樋門）に排水ポンプ車1台
- ・大洲市（滝川樋門）に排水ポンプ車1台、照明車1台
- ・大洲市（山高川樋門）に排水ポンプ車1台
- ・大洲市（西大洲第二樋門）に排水ポンプ車2台（大洲市への自治体支援）



武田川樋門での排水作業の状況

■ 首長とのホットラインの開設 及び リエゾン（情報連絡員）の派遣

大洲市長、内子町長、西予市長、宇和島市長、鬼北町長と事務所長がホットラインを開設、情報収集体制を確立し、支援要請等の確認を行った。

また、大洲市、内子町、西予市にリエゾン（情報連絡員）を派遣し、支援要請の確認及び情報収集等を行っている。



首長とのホットラインの開設の状況



リエゾンの活動状況(大洲市)

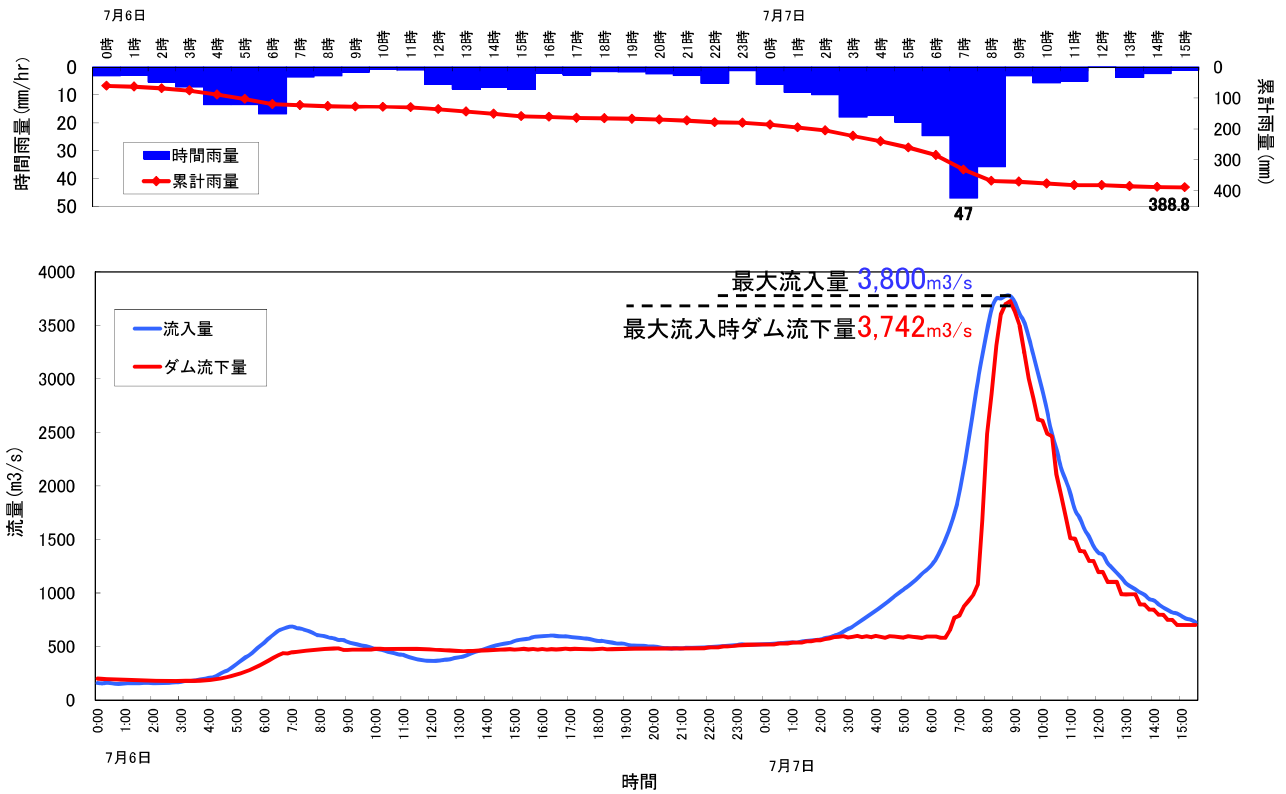
■ 緊急速報メールの配信

「河川氾濫のおそれ」及び「河川氾濫発生」について、緊急速報メールの配信を実施し、洪水の危険性を流域住民へ迅速に情報提供し、防災行動を促進した。

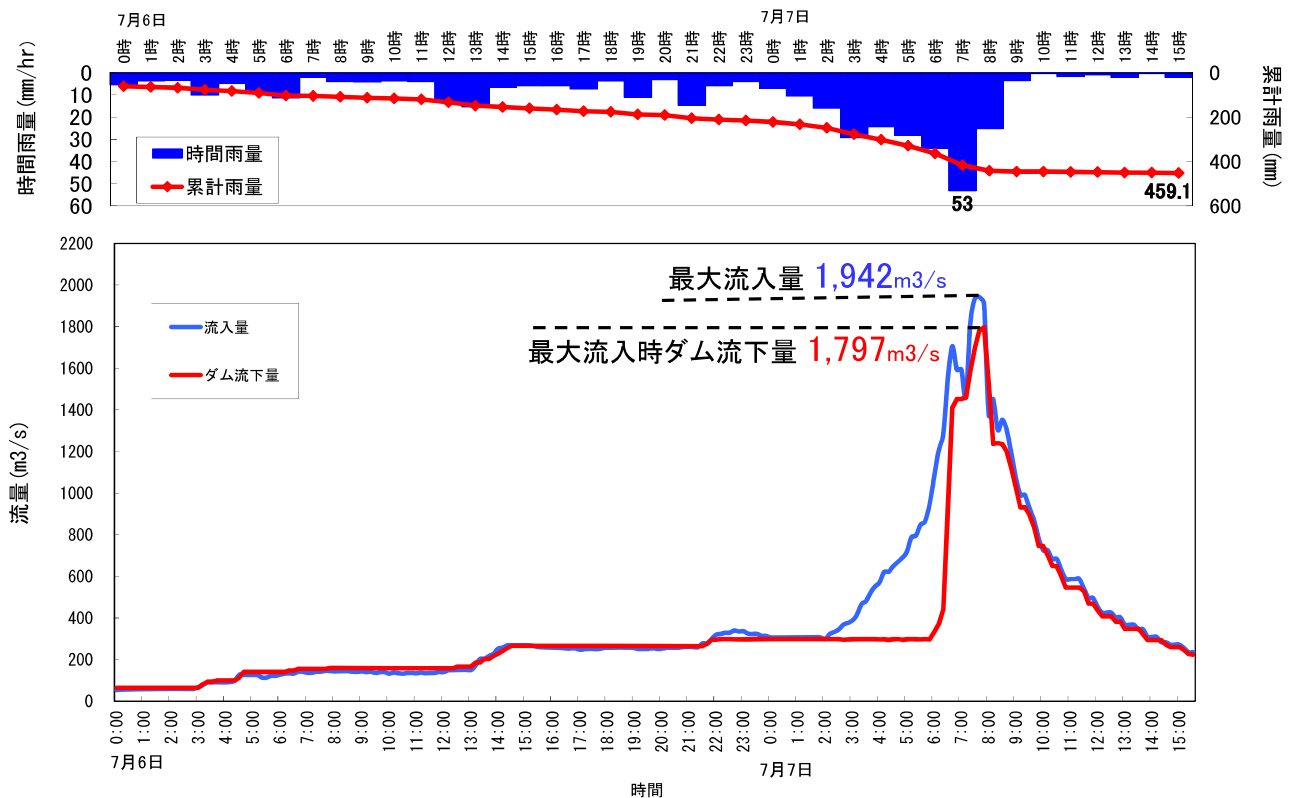


実際の配信された「緊急速報メール」の画面

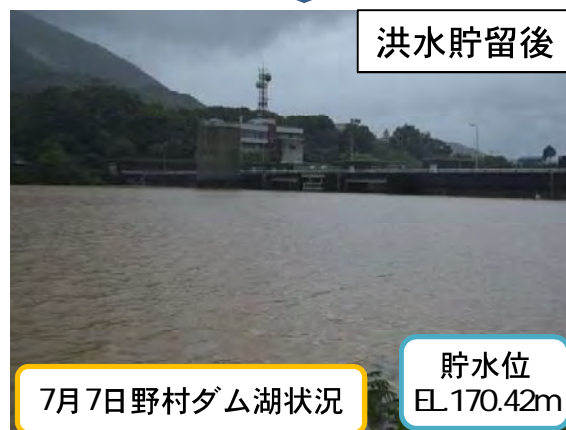
鹿野川ダムの洪水貯留状況



野村ダムの洪水貯留状況



■ダムによる洪水貯留状況



■これまでの最大ダム流入量との比較

